

## 愛教大創基150周年 記念の桜にプレート 刈谷で除幕式



幕を引いてプレートを披露した野田学長＝刈谷市の愛知教育大で

県養成学校を起源とする大学の「創基」から今年12月に150周年を迎える刈谷市の愛知教育大で23日、記念植樹した桜の前に新設したプレートの除幕式があった。

県養成学校は1873（明治6）年に名古屋市中で設立。全国に近代的な小学校をつくることになり、大勢の教員を養成する必要があることが背景にある。名称変更や統合を重ね、1

970年に愛教大名古屋分校と岡崎分校が刈谷市へ移転、統合された。

桜は付属図書館前の広場に植樹。プレートには「150」の数字がデザインされ、「0」は付属校や前身の学校の校章などを円環状に並べてかたどった。野田敦敬学長は11月19日に予定する記念式典に触れ、「皆さんで150周年を祝いたい」とあいさつした。

付属図書館では23日、「青い目の人形」に焦点を当てた記念展覧会を開始。

日米の友好を願い、100年近く前に米国から日本各地の小学校などへ贈られた人形を紹介している。11月23日までで、学外の人も観覧可能。開館時間などは図書館のホームページに記載している。（諏訪慧）